

子ども防犯教室の手引き & プログラム集



みんなで守ろう **子**どもの安全

はじめに

子どもを被害者にした痛ましい事件が多数発生している。また、2006年中に不審者が13歳未満の子どもに話しかける「声かけ」事案の発生は、警察が把握している件数で、全国で1万件を超えた。

子どもたちが、安心安全に暮らすために、大人はどのような手助けができるのだろうか。この「子ども防犯教室の手引き&プログラム集」が扱う**子ども防犯教室**は、子どもを「声かけ」や「連れ去り」その他の犯罪被害から守るために**非常に実効的**でしかも**比較的容易に取り組むことのできる対策**の一つである。

また**子ども防犯教室**は、**警察官や警察関係者などが行う幼稚園や保育園、小学校その他施設への出前防犯教育の大事な場**であり、「声かけ」事案や「連れ去り」その他の犯罪から子どもたちを守ることを目的とする。多くの場合、園や学校の要請にこたえて年に1回程度の割合で行われ、**友だちや周囲の大人の助けを借りながら、子どもが自分の力で自分の安全を確かなものにできるようになることが具体的な目標**となる。

この「子ども防犯教室の手引き&プログラム集」は、子ども防犯教室が効果的で円滑に行われることを願って作成されたものであり、次ページに示したように、「**子どもが自ら危険回避行動できる**」、「**子どもの発達・理解度に合わせる**」、「**学校と協力しながら、いっしょに考えていく**」、「**家庭や日常生活にまでつながり、継続できる**」、「**地域にまで広がる**」、「**子どもたち自身が安全な環境づくりに参加できる**」という子ども防犯教育の6つの基本的な視点に基づいて作成した。

また、本書は子ども防犯教育の視点や考え方を示すだけでなく、警察官その他の子ども防犯教室の担当者が実際に子どもたちに教える場面を想定して、**実践事例や実践に役立つアイデア、コツ**をふんだんに取り入れるようにくふうした。

2008年3月

研究会を代表して

青山学院大学 教授 樋田大二郎



DVD教材は子どもたちの関心も高い(東京都)



手づくりの車を使ってロールプレイ(鹿児島県)